

矯正臨床の本質を見極める

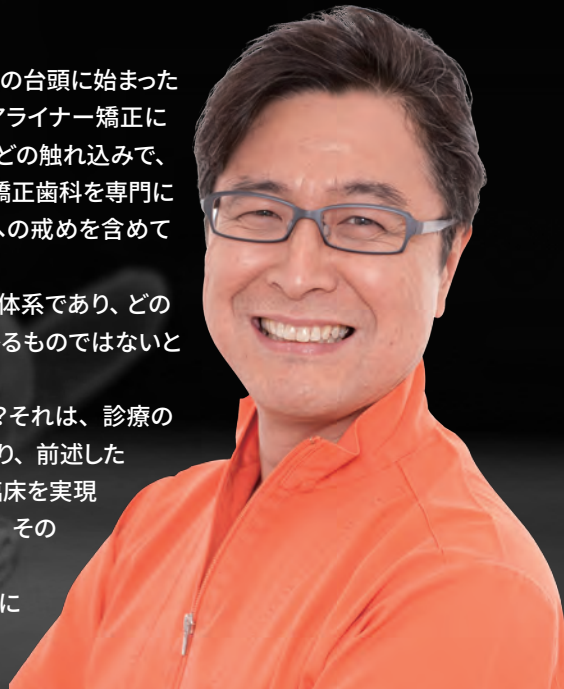
～効率化の先に目指すべきもの～

近年、アライナー型矯正装置を用いた矯正歯科治療（以下、アライナー矯正と略す）の台頭に始まったデジタル化の波は、矯正歯科の臨床現場を大きく変化させようとしています。特にアライナー矯正に関してはメーカーやコンサルティング会社等の主導により、簡単導入、経営の効率化などの触れ込みで、安易に手を付けてしまう歯科医師も少なくないのが現状です。そのような時代の中で、矯正歯科を専門に治療する歯科医師として、もう一度「矯正臨床の本質を見極めたい」という自身のへの戒めを含めて今回のテーマを掲げさせていただきました。

私の考える「矯正臨床の本質」とは言うまでもなく、診断学に始まる確立された臨床体系であり、どのような流派や術者、術式であっても不正咬合患者の治療ゴールは基本的に大きくブレるものではないと考えています。

ではなぜ、我々がデジタルを取り入れ、アライナー矯正を取り入れるのでしょうか？それは、診療の効率化を図り、その余った時間を更なる治療の質の向上に労力を向かわせるためであり、前述したような安易な目的ではないものと考えています。しかし、現時点では質の高い矯正臨床を実現するためには、まだまだワイヤー矯正から離れることはできないのというまでもなく、その診療効率を高める工夫はまだまだ終わりとは言えません。

本講演では、私の考える矯正歯科のデジタル化を交えながら、効率的な矯正臨床について皆さんと考えていきたいと思っています。



常盤 肇 先生

医療法人社団 真歯会 常盤矯正歯科医院 院長

ご
略
歴

1984年 慶應義塾高等学校 卒業
1990年 鶴見大学歯学部 卒業
1990年 鶴見大学歯学部 歯科矯正学講座 入局
1997年 鶴見大学歯学部 歯科矯正学講座 助手
2007年 鶴見大学歯学部 歯科矯正学講座 助教
2013年 鶴見大学歯学部 歯科矯正学講座 講師
2014年 鶴見大学歯学部 臨床教授（～2017年3月）
2014年 医療法人社団 真歯会 常盤矯正歯科医院 院長
2019年 鶴見大学歯学部 非常勤講師

資
格
・
役
職

1997年 日本矯正歯科学会 認定医（第1701号）
2001年 歯学博士（歯科矯正学）
2002年 日本矯正歯科学会 指導医（第539号）
2017年 日本矯正歯科学会 臨床指導医（第335号）
新宿区歯科医師会 専務理事
日本臨床矯正歯科医会 東京支部長
成育歯科医療研究会 副会長
日本口腔筋機能療法学会 副会長



セミナー日時

2023 **5/18**(木) 19:30～20:45 予定
(講演後の質疑応答セッション含む)

※振り返り視聴期間：2023年6月1日(木)～6月30日(金)までの予定



視聴可能なデバイス

PC、スマートフォン、タブレット

視聴後アンケートにお答えいただいた方に、セミナーサマリー資料をお届けできます

申込期日

5月11日(木)
まで

お申し込みはこちら

<http://go.3m.com/4K4n>



ライブ放映、後日の振り返り視聴（見逃し配信）、どちらも本申込みフォームにてご登録いただけます